

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2010年2月7日

### 聖日礼拝

教会シリーズ⑤

「普遍的な共同体」

使徒の働き9章1-6節、26-31節

竿代 照夫 牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

使徒の働き9章1-6節、26-31節

- 1 さてサウロは、  
なおも主の弟子たちに対する  
脅かしと殺害の意に燃えて、  
大祭司のところに行き、
- 2 ダマスコの諸会堂あての手紙を  
書いてくれるよう頼んだ。  
それは、この道の者であれば  
男でも女でも、  
見つけ次第縛り上げて  
エルサレムに引いて来る  
ためであった。

3 ところが、道を進んで行って、  
ダマスコの近くまで来たとき、  
突然、  
天からの光が彼を巡り照らした。

4 彼は地に倒れて、  
「サウロ、サウロ。  
なぜわたしを迫害するのか。」  
という声を聞いた。

5 彼が、

「主よ。あなたはどなたですか」  
と言うと、お答えがあった。

「わたしは、  
あなたが迫害している  
イエスである。

6 立ち上がって、町に入りなさい。  
そうすれば、あなたの  
しなければならないことが  
告げられるはずです。」

**26** サウロはエルサレムに着いて、  
弟子たちの仲間にはいろいろと  
試みたが、  
みなは彼を弟子だとは  
信じないで、  
恐れていた。

## 27 ところが、

バルナバは彼を引き受けて、使徒たちのところへ連れて行き、彼がダマスコに行く途中で主を見た様子や、主が彼に向かって語られたこと、また彼がダマスコでイエスの御名を大胆に宣べた様子などを彼らに説明した。



28 それからサウロは、  
エルサレムで  
弟子たちとともにいて  
自由に出はいりし、  
主の御名によって大胆に語った。

**29** そして、

ギリシヤ語を使うユダヤ人たち  
と語ったり、論じたりしていた。

しかし、

彼らはサウロを殺そうと  
ねらっていた。

**30** 兄弟たちはそれと知って、

彼をカイザリヤに連れて下り、  
タルソへ送り出した。

**31** こうして教会は、  
ユダヤ、ガリラヤ、サマリヤの  
全地にわたり  
築き上げられて平安を保ち、  
主を恐れかしこみ、  
聖霊に励まされて前進し続けた  
ので、  
信者の数がふえて行った。

# 説教

教会シリーズ⑤

## 「普遍的な共同体」

使徒の働き9章1-6節、**26-31節**

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

こうして教会は、  
ユダヤ、ガリラヤ、サマリヤの  
全地にわたり  
築き上げられて平安を保ち、  
主を恐れかしこみ、  
聖霊に励まされて  
前進し続けたので、  
信者の数がふえて行った。」

(使徒**9:31**)

はじめに：

使徒信条の一節

「共同の教会を信ず」

A. 「キリストの体」である教会  
(使徒**9**章より)

1. パウロの迫害対象は教会  
(1コリント**15:9**、ガラテヤ**1:13**、  
ピリピ**3:6**)

2. 教会（体）の痛みは、  
キリスト（頭）の痛み

3. 他地域の教会の痛みは  
私の痛み(1コリント12:26)



## B. 教会は地域的かつ全体的

1. 使徒行伝の「教会」は  
殆ど地域的 (地図参照)  
(使徒**14:23**)



2. **9:31**の「教会」は単数(全体的)

3. 共同的教会観

## C. 教会の建て上げと前進 (31節より)

1. 平和を保った：  
迫害の一時終焉と内的平和
2. 建て上げられた

### 3. 前進させられた

- ①主を恐れる：敬虔の思いと行動
- ②聖霊による励まし：  
聖霊の感動を受けた勧め

### 4. 信徒数が増加した

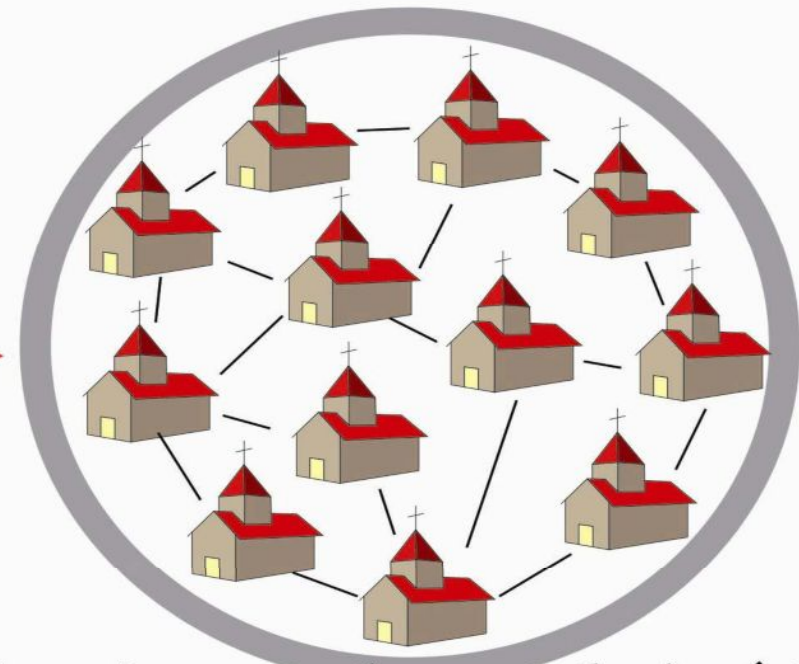
おわりに：

所属教会への忠実さと、  
広い視野との健全なバランス

<マイチャーチイズム

→インターチャーチイズム>

(イラスト参照)



**インター・チャーチイズム  
(協・教会主義)**

ミッションステートメント#5：  
近隣の諸教会、  
インマヌエルの諸教会、  
日本と世界の福音的諸教会と  
連帯して、  
日本と世界の福音化を目指します。  
特に、  
ディアスポラ日本人の伝道と  
帰国者受け入れのために  
心を用います。